

「研究紀要」発刊に寄せて

山梨県総合教育センター
所長 安達 徹

令和3年度山梨県総合教育センター「研究紀要」が発刊の運びとなりました。

本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、教員の資質向上、学校教育における課題解決に向け、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進しております。

研究分野につきましては、今年度、「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方～」という研究主題を掲げて学校現場が抱える様々な教育課題を解決するために、各研究協力校が行っている校内研究をセンターが支援し、協同で研究を進めるという形で取り組んでまいりました。

また、本センターでは、山梨教育の「知の拠点」としてのシンクタンク機能を活かして、学校現場の先生方の日々の実践の拠り所となり、実践の後押しをし、さらに進むべき方向を照らし出す、そのような存在となることを目指しながら、研究を進めてまいりました。

この研究紀要の発刊によって、研究協力校とセンターとの協同の研究の成果が、県下の多くの先生方に共有され、明日からの実践の糧になればと願っているところです。

研究協力校におかれましては、コロナ禍において、様々な対応に追われる中、精力的に校内研究を進めていただき、センター研究に御協力いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

また、専門的立場から御指導、御支援をいただきました山梨大学をはじめとする外部機関の先生方、センター研究に関わっていただきました全ての皆様方に、心より御礼申し上げます。発刊にあたってのあいさつといたします。